



水回りの点検を行う会員

洞 洞爺湖管工事業協会（齊藤昌隆会長・加盟9社）は7月10日、

洞爺湖温泉にある公衆トイレの点検、無償修理ボランティアを行いました。

同協会が毎年実施している技術を生かした地域奉仕の一環で、加盟各社から11人が参加しました。

作業開始に当たり、齊藤会長は「洞爺湖を訪れる観光客の皆さんに気持ち良くトイレを使ってもらいたい」と挨拶。

会員らは、珍小島公園トイレやバスターミナル横駐車場トイレなど9カ所を分担して点検などを実施しました。

公衆トイレを点検、整備 洞爺湖管工事業協会ボランティア

クラスパフォーマンスなどで盛り上がる 第56回虻高祭開く

7月14日、15日の両日、虻田高校は、第56回虻高祭「明舞楽（あぶた）祭」を開催しました。

15日の一般開放日には、学校の前庭で、コーラの早飲みやたたいて・かぶって・じゃんけんポンなどのミニゲームを実施。

引き続き趣向を凝らしたクラスパフォーマンスが披露され、来場者らを楽しませました。

前日は、生徒会企画として、モザイクアートや立体



ダンスパフォーマンスを繰り広げる虻高生

アートの発表会、男装女装コンテストなどが行われ、生徒全員で盛り上がりました。

開設10周年記念第1弾 道の駅とうや湖夏祭り

開 設10周年を迎えた道の駅とうや湖は、7月16日記念第1弾として、夏祭りを開催しました。

時折雨が降るあいにくの天候にもかかわらず、町内をはじめ札幌市や室蘭市、登別市などから多くの人がつめかけ、賑わいました。

会場では、平成28年産の氷室貯蔵されたジャガイモの詰め放題が、1回100円で実施され、1トン用意したジャガイモが、ほぼ完売するほどの大盛況。そのほか、新ジャガイモ、長いも、ゴボウ、レタス、玉ねぎなど多くの新鮮野菜が店頭に並べられ、来場者らは新鮮で格安な野菜を買い求めています。



ジャガイモ詰め放題を楽しむ親子連れ

第9回縄文まつり（同実行委員会主催）が、7月17日、入江貝塚公園で開催され、子どもたちが、体験やミニゲームなどを通じて縄文文化への理解を深めました。



縄文フィッシングで魚を釣り上げる子どもたち

会場では、火起こし、やり投げなどの体験コーナーや鹿角クラフトや耳飾り作りなどの工作コーナーが設けられ、そのほか縄文ミニゲームや縄文

選手権などが行われ、来場者を楽しませました。

人気の火起こしコーナーでは、子どもや大人たちが、悪戦苦闘しながら果敢に挑戦。

昼食時は、縄文カレーなどが振る舞われ、人気を博していました。

縄文人の暮らしを体験 第9回縄文まつり

北海道への恩返し 空撮写真寄贈

(株)にしあしの里代表取締役で、北日本精機(株)の創業者である小林英一氏が始めたプロジェクトから虻田中学校に写真の寄贈があり、6月29日学校で贈呈式が行われました。

プロジェクトは、「北海道への恩返しを」と道内の公立学校に学校が希望する北海道の空撮写真を贈るものです。

今回、西胆振では4校が対象となり、虻田中学校では、有珠山と洞爺湖をメインに10点の写真を選定。

当日は、(株)にしあしの里の清澤茂弘開発部長が生徒会長の伊藤 葵さん(3年)にパネル写真一式を贈りました。



虻田中の伊藤さん(右)にパネル写真を手渡す清澤開発部長(左)

洞爺湖町と豊浦町との合同少年野球チーム豊浦シーガルスが7



全道出場を真屋町長に報告した豊浦シーガルスのメンバー

月4日、役場を訪問し、真屋町長に全道大会出場報告と大会での健闘を誓いました。

同チームは、5月27日から伊達市で開催された第37回高円宮賜杯全日本学童野球大会西胆振支部大会で優勝し、全道大会への切符をつかみました。真屋町長は「一杯応援します」と激励。キャプテンの本井優吾君が「優勝目指して一戦一戦全力で闘ってきます」と意気込みを語りました。

7月15日室蘭市で開催された同南北海道大会では、残念ながら、豊浦シーガルスは1回戦で敗退しました。

少年野球チーム豊浦シーガルス 全道大会出場を真屋町長に報告

ポロモイスタジアムサッカー教室(NPO法人洞爺にぎわいネット



楽しそうに人工芝でサッカーボールを追いかける園児たち

ワーク主催)が7月5日、洞爺湖町月浦運動公園ポロモイスタジアムで行われました。

「洞爺湖&コンサドーレ札幌子どもの夢応援プロジェクト」の第1弾として、普段人工芝と触れあう機会の少ない子どもたちにサッカーでおもいきり体を動かしてもらおうと開催。町内全保育所と、とうや幼稚園の4、5歳児約80名が参加しました。

園児たちはドリブルやシュートなどの練習を行った後、コーチとゲーム形式で対決。汗だくになりながらも元気いっぱいボールを追いかけていました。

人工芝で元気にボール遊び ポロモイスタジアムサッカー教室

活躍してくれた愛馬を偲ぶ 平成29年度馬頭観世音慰霊祭

7月5日、馬頭観世音慰霊祭(同観世音保存協会主催)が、大磯と入江の馬頭観世音碑前で行われました。

入江馬頭観音堂前で行われた式では、保存協会会員や元馬主、農協関係者、行政関係者など約20人が参列。亮昌寺の笠谷僧侶による読経の中、一人ひとりが焼香を行い、活躍してくれた愛馬の往年を偲びました。

引き続き、馬頭観世音保存協会の総会が開かれ、会務と会計を報告した後、懇親会が行われ、会員相互の親睦を深めました。



厳粛に行われた馬頭観世音慰霊祭

まちのわだい

